

輝かしい伝統と気品。その歴史はクラシック・バレエそのもの

第33回 名古屋クラシックフェスティバル

マリインスキー・バレエ 「白鳥の湖」

〈全3幕〉

作曲:チャイコフスキー

管弦楽:マリインスキー歌劇場管弦楽団



© Hidemi Seto



© N.Razina

Mariinsky Ballet
Swan Lake

2015 **11/29** (日) PM5:00

愛知県芸術劇場大ホール

S ¥22,000 A ¥19,000 B ¥15,000
C ¥12,000 D ¥9,000 E ¥7,000 学生¥3,000 (税込)

学生券 ご希望の方は中京テレビ事業ホームページよりエントリーしてください。公演1か月前に抽選の上、お席をお取りできるか否か登録メールアドレスへご連絡いたします。エントリー開始は一般発売日以降となります。 webからお申し込みできるようになりました!

■出演者等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催: 中京テレビ放送 企画・運営: 中京テレビ事業
後援: 愛知県・名古屋市・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

お問い合わせ 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM10:00~PM5:00 / 土・日・祝日休業)

http://cte.jp 中京テレビ事業 検索 5/30(土) 一般発売

座席表からお席をお選びいただけます! AM10:00~

中京テレビ事業チケットセンター	052-320-9933
チケットびあ(Pコード 443-072)	0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード 46998)	0570-084-004
愛知芸術文化センターPG	052-972-0430
栄プレチケ92	052-953-0777
e+ (イープラス)	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
中日サービスセンター	052-263-7282

チケット販売所

他

230余年の歴史を持つ「世界最高峰のバレエの殿堂」

マリインスキー・バレエ

世界的にも長い歴史をもち、バレエの歴史に多大な影響を残してきたバレエ団。
ロシア国内で最もレベルの高いバレエ学校を擁し、常に世界第一級の人材を輩出している劇場。

マリインスキー劇場(内観)

マリインスキー・バレエの誕生から その芸術的名声の確立まで

バレエという舞台芸術は「イタリアに生まれ、フランスで育ち、ロシアで花開いた」といわれます。マリインスキー・バレエは1730年代フランスから伝わった、ロシア帝国宮廷バレエをその起源とし、1783年、女帝エカテリーナ2世により、当時の帝国の首都サンクトペテルブルグにオペラとバレエ専用の「ボリショイ劇場」が建設され、この劇場付属のバレエ団が誕生しました。



1860年、新たに竣工した「マリインスキー劇場」に活動拠点を移しました。

また、19世紀後半、フランス人振付師マリウス・プティパの活躍

により、多くのクラシック・バレエの演目が誕生しました。中でもプティパとチャイコフスキーのコラボレーションによる3大バレエ『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』も、この劇場から誕生しました。(『白鳥の湖』の初演はモスクワのボリショイ劇場でしたが、今日世界中で上演される『白鳥の湖』は、ペテルブルグでプティパが振付したものを、その基本にしています。)

マリインスキー・バレエはプティパによって、その芸術性が頂点にまで磨き上げられ、世界の「バレエ上演史」に不動の地位を築くこととなり、その伝統を今も受け継いでいるのです。



守られる伝統のスタイル — マリインスキー・バレエの 特徴が際立つ今回の来日演目



© V.Baranovsky

マリインスキー・バレエの入団は、かつて貴族の子弟に限られていた為、貴族的で古典的な美しさを崩さず優雅で上品、特に腕のラインが美しいことを特徴としていました。これがそのまま「マリインスキー・バレエの優雅なスタイル」として受け継がれており、また、一糸乱れぬコール・ド・バレエ(群舞)の評価もきわめて高く、これは最高レベルの教育による、豊富な人材が揃っていることの証でもあります。

今回の来日演目は、「ロシア・バレエの殿堂」を自負するマリインスキー・バレエとダンサーの魅力が十二分に発揮される演目をお楽しみいただけます。マリインスキー・バレエの「お家芸」とも言える「白鳥の湖」—ロシア最高峰のバレエ団が満を持してお贈りする格調高い舞台に、どうぞご期待ください!



白鳥の湖 ~Story~



ジークフリート王子は白鳥が住む湖へ狩りに向かう。白鳥たちが泳いでいるところへ月の光が出ると、白鳥が娘たちの姿に変わっていった。その中でひととき美しいオデット姫に王子は惹かれる。この呪いを解く方法は、まだ誰も愛したことのない男性に愛を誓ってもらうこと。王子は明日の舞踏会に来ようオデットに言う。

舞踏会に悪魔の娘オデールが現われる。王子は彼女を花嫁として選ぶが、それは悪魔ロットバルトが魔法を使ってオデールをオデットに似せていたのだ。悪魔に騙されたことに気づいた王子は嘆き、オデットのもとへ向かい、許しを乞う。ジークフリートはロットバルトに決闘を挑む。愛は悪魔に打ち勝つ力をジークフリートに与える。昇る太陽の光が生命と愛と幸福を運んでくる。